

平成21年度全国高等学校選抜自転車競技大会

この資料は監督会議で使用しますので印刷してご持参ください。

大会特別規則

競技運営委員長 坂井田米治
総務委員長 今井喜代治
審判長 福田俊彦

トラック・レース、ロード・レース共通事項

競技規則は2009年（財）日本自転車競技連盟競技規則、及び大会特別規則に則り実施する。

(1) ライセンスコントロール

日時：3月24日（水） 9:00～13:00 場所：北九州メディアドーム 1階西モール入り口

(2) 監督会議

日時：3月24日（水） 14:00～14:40 場所：北九州メディアドーム 1階アリーナ控え室3・4

(3) ヘルメット

JCF公認ヘルメットを使用する。エアロヘルメットの使用は、タイム・トライアル、パーシュート試合時のみとする。また、競輪用ヘルメットの使用を認める。

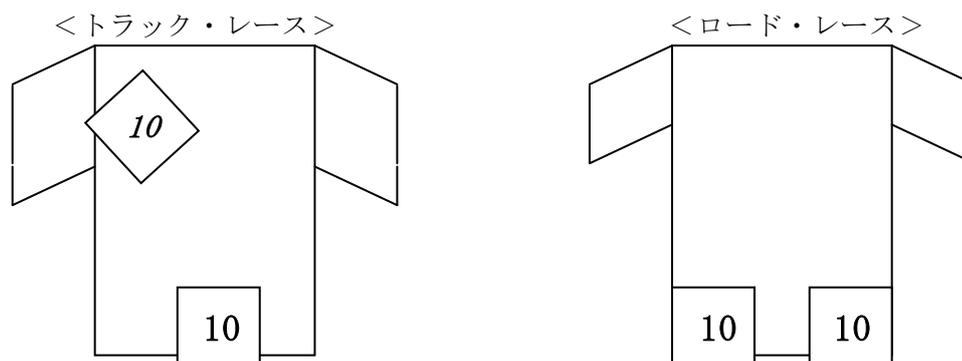
(4) フレーム関係の申請

① ブリヂストンサイクル社製カーボンフレーム（FPCPT）については使用を認める。これに類するフレームの使用を希望する場合、または身体形態上の理由により規定外のサイズの自転車を使用する場合は指定の申請書 （専門部ホームページより入手） を提出する。（※提出即、許可ではない。）

② 上記の申請書は、ライセンスコントロール時に学校単位 （男女別） にまとめて監督が提出する。

(5) ゼッケン（ナンバーカード）

ボディ・ナンバーは下図のとおり装着する。1枚でよい種目の場合は腰部中央部に装着する。



※トラック・レースでは、肩番号は走路内側から読み取れるように 左上がりの斜め向き に装着する。

※ロード・レースでは、後方の移動審判から判別できるように装着する。ヘルメットの側面には、ヘルメットシールを番号が確認できるよう着用する。※女子は、ヘルメットカバーを着用する。

(6) 表彰式

表彰は、男子が1～8位、女子が1～8位の競技者を対象に各競技の決勝が終了次第随時行う。対象選手は速やかに集合すること。

<表彰会場>

トラック・レース : 走路ホーム側特設ステージ

ロード・レース : 響灘緑地 グリーンパーク野外ステージ

トラック・レース

- (1) ヘルメットカバー使用種目
ケイリン、ポイント・レース、スクラッチの3種目とし、配布・回収はホーム側走路指定場所で行う。
- (2) 選手控え所・および自転車保管庫
アリーナ内に各都道府県単位で設置する。夜間は施錠をするので、各チームの責任において保管庫として利用できる。
- (3) 走路の入退場
入・退場は階段状のロールバック席を利用する。走路への入場はホーム側、走路からの退場はバック側にそれぞれ限定する。
- (4) 招集
アリーナ内（ホーム側）に1箇所設置する。出走意志・ジャージ・ボディナンバーの確認およびケイリンの抽選を実施する。
- (5) 自転車検査
 - ①アリーナから走路に入る自転車は、すべて無作為抽出により検査を実施する。
 - ②自転車が走路からアリーナへ一旦退場した場合も、再入場時に再び検査の対象となる。
 - ③指摘されたポジション等の修正がスタート時間に間に合わない場合はレースに出走することはできない。代車も同様とする。
- (6) スタート準備
タイム・トライアル、パーシュート以外の種目については、各チームのスタッフが、ホルダーをつとめる。ホルダーは、選手を押してはならない。
- (7) ギア比チェック
競技終了後、指示された競技者は、ギヤ比チェックを行う。
- (8) 競技者への指示許可場所
 - ①タイム・トライアル、パーシュートについてはスタートライン付近の指定場所に1名認める。
 - ②ポイント・レース、スクラッチについてはバック側直線の指定場所に1名認める。その際、選手のヘルメットカバーと同じ番号のビブスを着用し、担当役員の指示に従う。従わない場合は当該者および同チームの走行競技者に対してペナルティを与える。
- (9) タイム・トライアル
スターティングマシンを使用し、ホーム・バック同時スタート方式とする。
500mタイム・トライアルについてはホーム側よりの単独発走とする。
(プログラム・スタートリストのH/Bの記号はフィニッシュ側を示す。)
- (10) スプリント
予選上位12名によりトーナメントを実施する。競技は1/8決勝、1/8決勝敗者復活戦、1/4決勝（3回戦制）・1/2決勝（3回戦制）・順位決定戦の順で実施する。
- (11) インディヴィデュアル・パーシュート
 - ①スタート方法 タイム・トライアルと同様とする。
 - ②予選上位1・2位の者で決勝を、予選3・4位の者で3-4位決定戦を実施して順位を決定する。5~8位は予選のタイムにより順位を決定する。
- (12) ケイリン
 - ①スタート位置は、中央線より横一列に並ぶ、ホルダーは各チームがつとめる。
 - ②ペーサー離脱速度は、残り1.5周（残距離600m）付近で時速50km程度とする。
 - ③2回戦は、予選9組の上位2名及び敗者復活戦7組の上位2名で行う。決勝は、2回戦4組の上位2名による8名で行う。
- (13) スクラッチ、ポイント・レース
 - ①男子スクラッチは予選6km、決勝8kmで実施する。決勝は予選5組の上位各4名による20名で行う。女子スクラッチは決勝6kmで12名で実施する。
 - ②ポイント・レースは予選16km、決勝24kmで実施する。決勝は、予選4組の上位各6名によ

(9) 試走・練習

必ず、監督立会いの上、安全な装備で交通規則を遵守して試走する。練習をする場合も同様である。